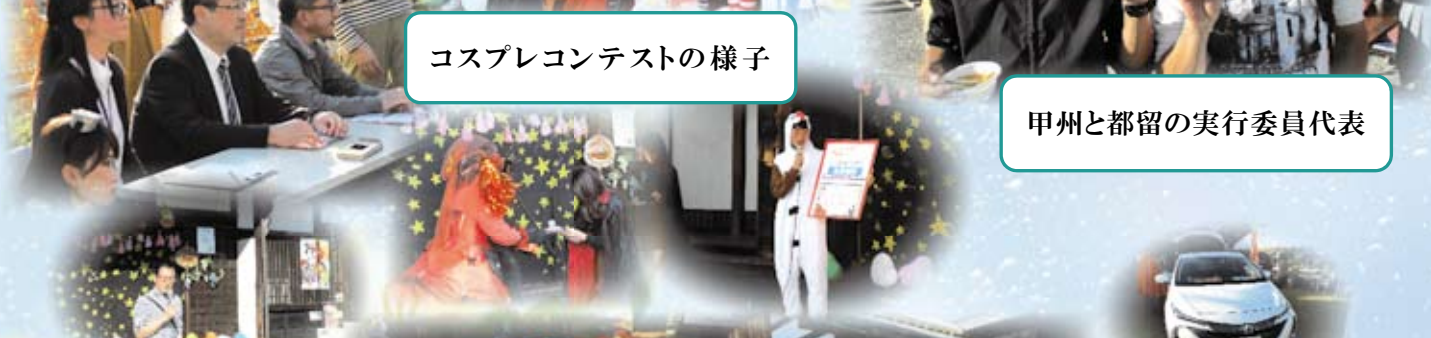




コスプレコンテストの様子

甲州と都留の実行委員代表



ランタンづくり会場の様子



かぼちゃ畑の様子



アンケートから

アドバイザーとコンソーシアム参加者（18名）にアンケートを実施。感想とともに回答していただいた。

設問1 地域にとって、活性化の取り組みは必要だと思いますか。当てはまるものに○をつけてください（一つだけ）。

- 1 必要である(100%)
- 2 必要は感じない(0%)
- 3 わからない(0%)

4 上記の理由があれば書いてください。

- ・高齢化が進み、人口減少が止まらない状況だからこそ、地域の魅力を高めて周囲に知らせる必要があると思う。交流人口を増加させて、経済的な面だけでなく、人的交流によって、元気な地域づくりを継続することは重要だ。
- ・学生にとって、地域活性化に取り組むことにより、地域の人々や他大学との交流を通じて社会性を身につける場として有効である。
- ・元気な地域を作ることは人口減少対策のひとつになると考えます。
- ・地域の人々が考え、実施する中で町への愛着が醸成され、将来の若者のUターンに繋がる。
- ・交流が広まることにより新たな考えなどが生まれ、交流人口や定住人口の増加につながるため、活性化は必要である。
- ・お客さまを運ぶ弊社からすると、地域の魅力（＝活性化）がないと人が動かなくなり、地域も衰退してってしまうため、地域の方々による活性化は必須。
- ・産学官民で地域活性化に取り組むことは地域とのつながりが強くなるだけでなく学生の皆さんにとっても実践的な場という側面以外に地域により愛着をもつきっかけとなると感じる。そして、産学官民がチームとして活性化に取り組むことでより地域の魅力が発信できる環境ができると思う。

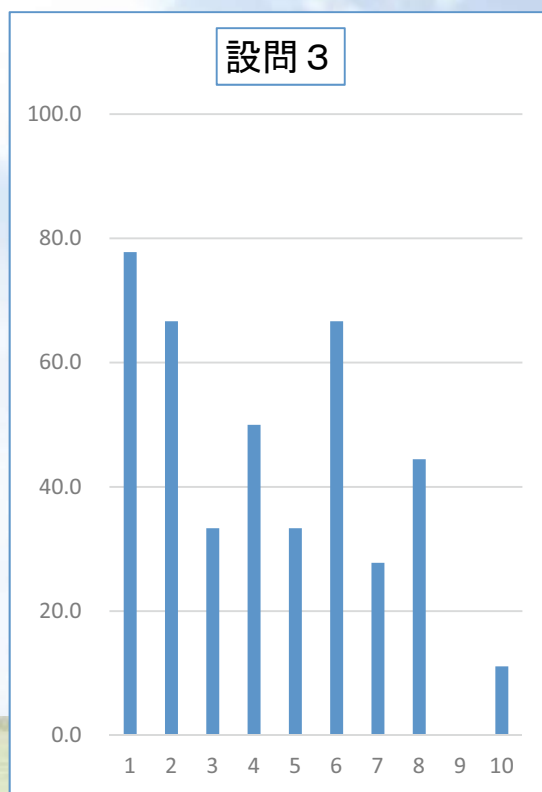
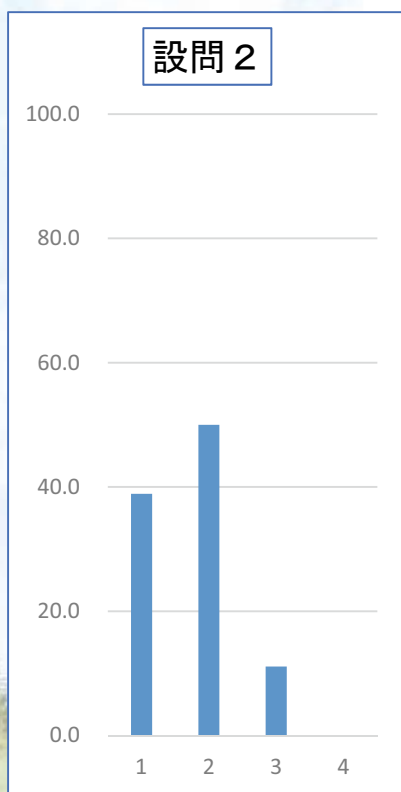
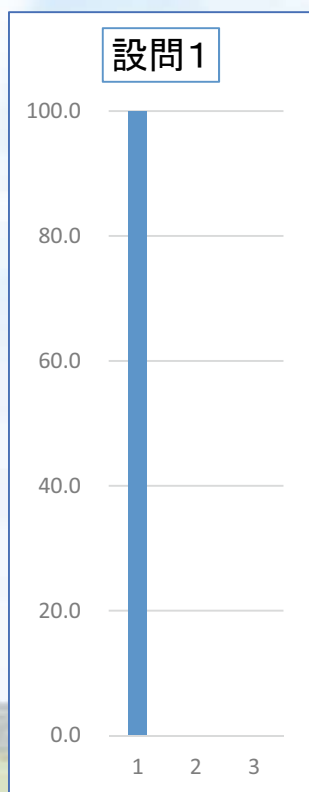
設問2 今年度のワイワイ実行委員会の活動に対して、感じていることを次から選んで○をつけてください（一つだけ）。

- 1 地域の活性化に、大いに役立っていると思う。(38.9%)
- 2 地域の活性化に、それなりに役立っていると思う。(50.0%)
- 3 活動しているようだが、地域の活性化に役立っているかどうか分からない。(11.1%)
- 4 活動しているようだが、地域の活性化に役立っているとは思えない。
- 5 その他（上記以外に感じていることがあれば下に記入してください）

- ・ワイワイ実行委員会での活動について、メディアを通じて外部に発信する機会を設けてほしい。
- ・役立っていると思うが、ワイワイ実行委員会というものがもっと地域に認識してもらえるように、活動とともにPRも必要なのではないかと思う。

設問3 ワイワイ実行委員会の今後の活動に対して望むことは何ですか。当てはまるものにすべてに○をつけてください（複数回答可）。

- 1 これまでどおり、若者のアイデアを中心に進めてほしい。(77.8%)
- 2 イベント（天空かぼちゃまつり・じょいつる市場）での活動を活発にしてほしい。(66.7%)
- 3 イベント（天空かぼちゃまつり・じょいつる市場）以外の活動にも取り組んでほしい。(33.3%)
- 4 実行委員が継続的に（複数年）関わってほしい。(50.0%)
- 5 地域の要望をもっと聞き入れた取り組みをしてほしい。(33.3%)
- 6 地域とのつながりをより深めてほしい。(66.7%)
- 7 地域活性化に関する、より専門的な情報や支援がほしい。(27.8%)
- 8 ワイワイ実行委員会やコンソーシアムの取り組みをもっと分かりやすく伝えてほしい。(44.4%)
- 9 特に望むことはない。(0%)
- 10 その他（上記以外にあれば下に記入してください）(11.1%)
 - ・あくまで学生が主体であるが、学生へのアドバイザー役として調整してほしい。
 - ・ワイワイの活動について、マスメディア等への投げ込みなど情報発信をより活発にして欲しい。



ワイワイ協働事業についての感想

～ アドバイザー・コンソーシアム参加の皆様から～

〔アドバイザー〕 山梨学院大学 現代ビジネス学部教授 数住 伸一 様
地域活性化の活動で大きな障害となる予算（お金）の問題で、学生や生徒のアイデア実現や行動を後押ししてもらえる点が大変ありがたい。

〔アドバイザー〕 山梨県立産業技術短期大学校 観光ビジネス課教授 鶴澤 孝一 様
本校は、「甲州天空かぼちゃ祭り」への参加を通じワイワイ協働事業の活動に加わったが、学生にとって地域振興・観光振興を経験する場として有意義であったと考えられる。今後は、今までの反省点を踏まえ改善し、次年度以降も継続することで地域のイベントとして定着していきたい。また、地域のイベントとして定着するには知名度の向上が懸案であり、メディア等を通じた積極的な情報発信が求められる。ワイワイ協働事業においても情報発信の機会を設けて頂きたい。

〔アドバイザー〕 山梨県立産業技術短期大学校 観光ビジネス課准教授 田代 明彦 様
本学では社会で即戦力として活躍するために必要なコミュニケーション能力や社会適用能力を備えた学生を育成するため、天空かぼちゃ祭りへ参加している。大学、地域、企業等が連携して取り組むこの祭りについて、財源面やリーダー養成の面から支援して頂いており、現在運営できているのも、この事業の存在が大きい。山梨の若者が地元の良さを再発見し、郷土愛を醸成する上で有益であり、今後もこの事業が継続することを願う。

〔アドバイザー〕 都留市役所 河野 淳 様
年齢が近い「子ども」を中心に、参加者の心をぐっとつかむ企画やその実施をととても頼もしく感じた。実現にかかる調整などは周りをサポートする大人をうまく使って、これからも「やってみたいこと」をこの場で実現してほしい。

NPO 法人甲州元気村 廣瀬 隆 様
大学生は社会人予備軍と言いつけられると思います。その人たちがより良い仕事に就く事を考えていると、結局は様々な仕事のある都市へと流れていく事にしか繋がらないと思います。地域には様々な課題がありますが、その課題を解決する事を自分の糧にする事も出来るという発見をしてもらえると、山梨には都市にはない喜びもあることが見えてくると思います。教科書に無い勉強をしてもらう機会を作るのはとても大切だと思います。

JR 東日本八王子支社 牧 秀明 様
学生のうちから自ら考え、その発意により地域の人を巻き込みながら地域の活性化に取り組む機会があることはとても意義のあることだと思う。その発意を行動に移す障害に資金や人手があるがワイワイ協働事業によりその課題が解決されているので今後もぜひ事業を継続してほしい。

JR 東日本八王子支社 会田 均 様
地域の方々が自発的に動こうとしているのは、非常によいことで若者に視点を置いているところが企業側すると魅力的です。ここに更に（今まで以上に）行政機関のサポートが強まると企業側も産学官連携への取り組みとして活動しやすくなります。

JR 東日本八王子支社 富満 美里 様

今年度の天空かぼちゃ祭りに約 1000 人の来場がありました。学生の皆さんがワークショップや地元の皆さんへのチラシ配りなど多くの活動をされた 3 年前からの積み重ねであると感じています。また、地元の方々の多大なご協力もあっての結果であると思います。地域活性化とは簡単に結果が出るものではないと感じています。そのため、一過性ではなくこのワイワイ協働事業のように産学官民が一体となって継続的に取り組んでいくことが重要であると実感しています。

山梨県立塩山高等学校教諭 大澤 勝希 様

イベントを開催するにあたり特にコスト面で協賛企業や主催団体などの力だけでは開催は不可能であった。金銭以外にも行政からの支援や助言等があったおかげで学生、生徒たちは主体的に動くことができ、多くのアイデアを実現することができた。この経験をそれぞれが次のカテゴリーで活かしてもらいたい。

カフェ ChitChat 手塚 博夫 様

地域活性化に若い人たちの活動は、間違いなく突破口・呼び水になるが、活性化浸透（根づかせる）には、若い力と地域の人々をつなぐコーディネーター的な役割をする者が必要である。それは地域を知る協力的、リーダー的な人の介入が不可欠だと思う。

都留市役所 村島 祥文 様

じょいつる市場を活性化し、多彩な企画を行えるように継続して関わっていただきたい。

都留市役所 秋山 英一郎 様

若者が大人とお金を交えて企画を作ることは貴重な機会だと思います。準備や当日運営した中でどんなことで達成感を得たのか、疑問を持ったのかなどを実行委員会と話す若者も実行委員会もよりよくなっていくものではないかと思います。地理的にも若者が流失するところであるため、こうした事業は若者が山梨に残る一つのきっかけになるのではないのでしょうか。

都留市商工会 事務局長 重原 達也 様

じょいつる市場に厚みを持たせる意味からも大変有意義な活動だと思います。毎年継続することにより認知度も高まり、参加者も増加するのではないのでしょうか。

(株) 佐野印刷 佐野 龍一 様

ワイワイ協働事業については、不勉強でよく把握していません。じょいつる市場に参画していただけることは、大変ありがたい。他地域のイベントのノウハウなどを情報提供していただきたい。

en 西浦 絵理 様

学生が積極的に関わっていただき、地域と学生が一緒にできる事業に期待します。学生の斬新なアイデアに驚かされます。今後も続けていってほしいです。



ワイワイ実行委員会に参加しての感想

～実行委員の感想～

〔実行委員長〕山梨学院大学 望月 裕太

今回のMiraiプロジェクトにおける天空かぼちゃ祭りの活動を通してワイワイ実行委員会として初めて活動させて頂きましたが、この活動を通して様々な価値観を持った人たちや、年代の違う方々との交流を通して地域を盛り上げるという信念を感じることができました。しかし、もう一つの都留の方々とはなかなか地理的な面で関わるのは難しかったので、ビデオ通話など、最新のツールを使いながら交流してもよかったと思いました。

〔副実行委員長〕都留文科大学 北原 拓真

ワイワイの話聞いたとき、1日を通じてじょいつるの運営に関わったことのない自分が、ワイワイの活動を上手く進められるか不安でした。今年度のワイワイの活動から、イベント運営の難しさや準備を着実に進めることの大切さを知りました。しかし、イベントを無事に終えることができ、みんなとイベントを成功させたという達成感がありました。これも、協力してくださったみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

〔実行委員〕山梨学院大学 山本 紗奈

今回甲州天空かぼちゃ祭りを通して初めてワイワイ実行委員会へ参加させていただきました。参加により他の団体との交流を持つことができたことが一番のメリットだったと感じました。普段の学生生活では、なかなか企業の方や地域の方と関わり合う機会がないので、ワイワイ実行委員会を通して様々なことを学び、学生主体であることが重要であると感じました。

〔実行委員〕山梨大学 根津 裕介

今回、大学の集中講義である「フューチャーサーチ」を通して、初めてワイワイに参加させていただきました。大人数の会議や様々な団体に関わるイベントなど、日常生活ではあまり体験できないことを通して学べたことは多いと思います。今後はこの経験を他のボランティア活動や就職活動で活かしていきたいと思います。また、自分の活動が山梨県の地域の活性化に少しでも役に立ったのであれば、幸いです。

〔実行委員〕都留文科大学 油上 千紘

ワイワイ実行委員会に参加したことで、自分たちのできる範囲が広がり、いつもよりも地域との交流が出来た。

〔実行委員〕山梨学院大学 塩島 萌優美

ワイワイ実行委員会に参加したことで、たくさんの山梨県の方々と交流できたと思います。大学内の関わりだけでなく、今まで関わりのなかった人とも話をする機会ももててよかったと思いました。地域貢献についてもできたと思います。大学生でワイワイ実行委員会に参加できたことはとてもよい経験でした。

〔実行委員〕山梨学院大学 宮地 大輝

今回、自分がワイワイ実行委員会に参加して思ったことは、学生主体で考えていくことは大変だということだ。わからないことや、不安なことが多くあった。しかし、終わってからの達成感はとても大きいものだった。今までこういう体験をしたことがなかったためとてもよい経験となった。機会があればまた取り組みたい。

〔実行委員〕山梨学院大学 杉本 隼人

今まで祭りに携わることがなかったので、初めから携わることができよい経験ができたと思う。初めてやることが多く、時間に追われて大変だった。祭りを行うまでに負担するお金が結構多くかかった。交通費だけでもかなりの出費であった。大変なところもあるが、やりがいは感じられた。

〔実行委員〕山梨学院大学 田村 華望

地域活性化を推進していくためには、地域や地元住民の方との連携を図っていくこと、携わる団体の人と協力するということが必要だが、その難しさを痛感した。学生主体なので、地域住民の方などに学生の考えを理解してもらうことがとても大変で、様々な方々の助けが必要であることを学んだ。

〔実行委員〕山梨学院大学 手塚 順子

山梨学院大学の学生だけでなく、他の学校の人と交流できる機会になったのは良かったが、交流する時間がなかったことが残念だった。学校はわかるが、顔と名前がわからず終わってしまった。また、交流する機会があれば、もっとお互いのことがわかるような仕組みがあったら良いと感じた。

〔実行委員〕山梨学院大学 林 もも香

初めてワイワイ実行委員会に参加しましたが、地域の活性化活動に参加できたり、貴重な体験ができたりと楽しく過ごせて良かったです。今回の経験で、自分自身も成長できたと思うので、またこのような機会がありましたら参加したいと思います。

〔実行委員〕山梨学院大学 武 秋

ゼミでの話し合いで、同じようなことに興味関心があるのに、感じ方や考え方が自分とは違うことに気づいた。真剣に取り組むには、必要な知識を身につけることと、学習能力が必要であることがわかった。天空かぼちゃ祭りのイベントでは、役割分担をし、協力・協働して活動できた。活動を振り返り、人は地域とつながっているということを感じた。この経験は将来役にたつと思う。

〔実行委員〕山梨学院大学 王 成康

地域貢献や地域活性化を目的とした活動をしているので、イベントの企画や準備から本番までをやり遂げる大変さを学べたことは良かった。天空かぼちゃ祭りを学生主体のイベントにして、若者のアイデアで活気ある祭りにしてほしいという生産者の声に応えたかったです。留学生として、日本語を勉強できて、日本人と交流できるのはとても良かったです。

〔実行委員〕山梨学院大学 レ ティ キム ニイ

天空かぼちゃ祭りは10月の下旬でちょっと寒くて大変でした。初めて参加したので、わからないことがいろいろあったけれど、先輩などにアドバイスをもらって順調にできました。本当に良い経験になりました。





あとかぎにかえて



中心市街地の活性化に取り組み、ワイワイ協働事業として5年目、ワイワイプロジェクトの頃から数えると11年の月日が流れました。この間に様々なアイデアが出され、たくさんの汗を流してアイデアを実現してきました。今年度は、甲州市と都留市の2カ所で事業を展開しました。初めて関わるメンバーも多く、イベントを開催するにあたっては、不安な面も多々ありましたが、たくさんの方々に支えられたおかげで、協働しながらここまでくることができました。まちづくりの取り組みは、一朝一夕にできるものではありません。壁に突き当たることも数多くあります。しかし、継続こそが力になることを信じて、これからも一歩ずつ努力を積み重ねていけたらと思っています。

学生を中心とする実行委員は、やがて大学も実行委員会も卒業していきますが、活動に関わっていた多くの人たちが、ここでの経験を生かし、卒業後も社会で活躍していると聞いています。このワイワイの活動は、他には代えることのできない大変貴重な経験になると確信しています。卒業後、実行委員が必ずしもまちづくりに関わる仕事に就くとは限りませんが、いろいろな形で関わることはできるはずです。それぞれができる形で、今後も取り組んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、ワイワイ協働事業に御理解と御協力いただいた多くの関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

やまなし若者中心市街地活性化協働事業実行委員会一同



平成30年度実行委員

委員長：望月 裕太（山梨学院大学）

副委員長：北原 拓真（都留文科大学）

委員：山本 紗奈（山梨学院大学）／根津 裕介（山梨大学）／油上 千紘（都留文科大学）

塩島 萌優美（山梨学院大学）／宮地 大輝（山梨学院大学）／杉本 隼人（山梨学院大学）

田村 華望（山梨学院大学）／手塚 順子（山梨学院大学）／林 もも香（山梨学院大学）

武 秋（山梨学院大学）／王 成康（山梨学院大学）／レ ティ キム ニイ（山梨学院大学）

アドバイザー

数住 伸一（山梨学院大学）／鶴澤 孝一（山梨県立産業技術短期大学校）

田代 明彦（山梨県立産業技術短期大学校）／河野 淳（都留市役所）

参加・協力団体

山梨学院短期大学／山梨学院大学／山梨大学／都留文科大学／山梨県立産業技術短期大学校

山梨県立塩山高等学校／NPO 法人甲州元気村／JR東日本八王子支社／塩の山ファーム

（株）オオキ／トヨタカローラ山梨／堀内製作所／いちやまマート／ハーブ庭園旅日記

（株）ローリングC／（株）はくばく／（株）セカンドプランニング事務所／甲州市

甲州市商工会／都留市／都留市商工会

（敬称略、順不同）



やまなし若者中心市街地活性化協働事業

実行委員会

山梨県教育庁社会教育課

2019年3月発行